

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2003-140028 (P2003-140028A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 14 日 (2003.5.14)
 【出願番号】特願 2001-339738 (P2001-339738)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 7/28
 G 0 2 B 3/00
 G 0 2 B 3/02
 G 0 2 B 7/30
 G 0 3 B 7/099
 G 0 3 B 13/36

【F I】

G 0 2 B	7/11	Z
G 0 2 B	3/00	A
G 0 2 B	3/00	Z
G 0 2 B	3/02	
G 0 3 B	7/099	
G 0 3 B	3/00	A
G 0 2 B	7/11	A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 30 日 (2004.9.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

また、本発明は、測光系と測距系とがそれぞれ独立し、別々の光束を用いる装置を前提としており、この場合、測光領域と測距領域との間に視差（パララックス）が発生する。このため、測光系を一对の測距系の間に配置するとともに、各対物レンズの光軸を略同一平面上に配置することにより、測光領域と測距領域との視差を小さくでき、正確な測光および測距が可能となる。したがって、いわゆるスポット測光にも対応可能となる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

図 2 において、8，9 は測距用の一次元ラインセンサであり、ラインセンサ 8 は測距レンズ 1 から、ラインセンサ 9 は測距レンズ 2 からの光束を受光する。不図示のカメラ制御回路は、ラインセンサー 8，9 からの出力信号を処理することにより被写体距離情報を求め、撮影光学系の焦点調節動作を制御する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 6 】

10は測光用センサであり、このセンサ10は測光レンズ3からの光束を受光する。図に示すように、センサ10の受光面はいくつかの領域に分割されている。これは、撮影光学系は変倍系であるために、撮影領域が広角から望遠に変化するのに従って測光範囲を変化させることにより、撮影領域に対応した精度の高い測光を行うためである。